

# 1月全国大会 八戸ラグーと八学大 合同練習で切磋琢磨



吹雪をものともせずボールを追いかける両チームの選手たち

19日午前、時折雪が吹きつける八戸市美保野の同大ラグビー場。この日は12月並みに冷え込んだが、時折見舞う吹雪をものともせず、社会人と学生約60人が一緒に揃って楯円球を追っていた。

八戸ラグーは20歳前後から40代まで幅広い年代の社会人43人で構成。大学ラグビー部のOBが7人在籍していることから、両チームの都合が付きやすい日曜日に合同で練習している。

久保田竜太代表(34)は「新丸港運所所属」は「メンバーは自分の仕事があるので、どうしても個人練習が中心になりがち。学生との実戦さながらの練習は、非常に貴重な機会です。感謝してい

## 「ラグビー盛り上げたい」

### 八戸

ともに東北大会を勝ち抜き、来年1月の全国大会出場を決めた八戸ラグーR.F.Cと八戸学院大学ラグビー部が合同練習に汗を流している。社会人と学生、立場は違えど八戸市を拠点に切磋琢磨する両チーム。「自分たちが全国大会で活躍して、八戸のラグビーを盛り上げたい」と語ををる。

(工藤俊介)

る」と話す。

大学ラグビー部の工藤祐太郎監督(31)も八戸ラグー選手の1人。選手同士が気心の知れた仲で、互いに率直な意見を言い合える」と利点を強調する。

大学ラグビー部の七木田英之主将(22)は「八戸ラグーの選手は肉体的にも技術的にも自分たちより上の存在。吸収させてもらったことを生かし、全国大会でいい結果を残したい」と充実した表情を見せた。

八戸ラグーは来年1月7日から神奈川県などで開催される「全国クラブラグビーフットボール大会」に、大学ラグビー部は同日から愛知県で開催される「全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会」にそれぞれ出場する。